

重点戦略3 未来を先取る活力ある「まちづくり」プロジェクト 917,089千円

まちの人口規模の維持および人口構造の確保に向けては、若者や高齢者を含めた各年代の人口構成が適切に維持され、多様な人々の活動が活発に行われるとともに、地域交通や道路などの社会基盤の整備が重要になることから、将来を見据えた持続可能な「まちづくり」を進めます。



とりわけ令和7年度は、町制施行20周年の節目の年となるため、“きずな”をテーマにこれまでの20年のまちの歩みを振り返り、未来へと新たな一歩を踏み出すべく記念式典（事業）を開催するとともに、「国スポ・障スポ2025」を町一丸となって成功へと導くべく、町民等との綿密な連携により事業を展開します。また、これらの取組を契機とし、まちの認知度・魅力度を高め、新たな人の流れを創出するとともに、地域における防犯・防災力の向上、行政サービスの充実に向けたデジタル実装を着実に進め、世代を超えて住み続けられる快適なまちづくりに資する施策に取り組みます。

【主な取組】

- 町制20周年記念事業 **新規** 9,983千円 [みらい創生課]
- 移住・交流事業 **継続** 37,154千円 [みらい創生課]
- 地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト
(愛荘町ゆかりの資源を活かした戦略的広報事業)
 - 継続** 3,970千円 [みらい創生課、商工観光課]
- 防災対策事業 **継続** 12,338千円 [くらし安全環境課]
- デジタル化推進事業 **継続** 6,847千円 [経営戦略課]
- 空家対策事業（適正管理） **拡充** 1,165千円 [建設・下水道課]
- 湖東みらい線整備促進事業 **拡充** 33千円 [建設・下水道課]
- 体験型コンテンツを活かした誘客促進事業 **新規** 47,273千円 [商工観光課]
- 国スポ・障スポ開催推進事業 **拡充** 232,932千円 [生涯学習課]
- 給食センター厨房機器更新事業 **拡充** 176,055千円 [給食センター]
- 図書館長寿命化・LED化対策事業 **拡充** 389,339千円 [図書館]



国スポリハーサル大会の様子



スイーツライドの様子

愛荘町は20周年を迎えます！

平成18年2月13日、秦荘町と愛知川町が合併して「愛荘町」が誕生しました。それから20年、令和8年2月13日に愛荘町は20歳の誕生日を迎えます。そこで町では、20周年を記念した事業を実施します。

✨ ロゴマークについて

愛荘町町制施行20周年記念ロゴマークを募集したところ、全国から多くの応募がありました。住民投票の結果、松井 春奈さんの作品が最優秀賞に輝きました。



▲採用されたロゴマーク

【作品意図】 [20th]の部分

愛荘町の特産品である「近江上布」で数字の2を形取り、ハート（愛）の形で数字の0を表しました。（「愛」の町であるため）

花の部分

飾り付け部分として町の花・木である桜と紅葉で華やかに仕上げました。

人の部分

人々のこれからの未来、輝かしい活躍を願い、躍動感のある「人」のモチーフデザインを「20th」を囲むように配置しました。

✨ 広報あいしょう創刊号について

愛荘町が誕生した月に発行された「広報あいしょう」創刊号は、新成人が表紙を飾り、紙面には新成人が語る愛荘町への思いが掲載され、新成人と共に新しい一歩を踏み出した愛荘町としてふさわしい一冊となりました。

また、巻頭には、愛荘町誕生の見出しとともに、愛荘町の町章や町の目指す将来像「心ふれ愛・笑顔いっぱい元気なまち」が掲載されています。

これからも将来像を目指し、まちづくりを推進します。



✨ 町制施行20周年記念式典について

町制施行20周年記念式典を下記の通り開催します。

日時 令和7年11月23日（日）9時30分から
場所 ハーティーセンター秦荘 大ホール

☎ みらい創生課 ☎0749-29-9046